

講義科目4-11

皮膚病学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

皮膚の構造と機能を理解し、視診、問診、触診などの臨床獣医学の基本的な診断法から得た情報と、病理組織学、免疫学、生化学、細胞生物学をはじめとする基礎知識をもとに、主な皮膚疾患の病態生理、原因、症状、診断法と治療法を学ぶ。

(1) 皮膚の構造と機能および皮膚疾患の臨床症状

一般目標：

皮膚の構造と機能および皮膚疾患と全身性疾患にともなう皮膚・体表の症状を理解する。

到達目標：

- 1) 皮膚の構造と機能を説明できる。
- 2) 皮疹の種類と発症機序およびその他の皮膚に現れる症状を説明できる。

(2) 皮膚疾患の診断法

一般目標：

皮膚の視診、触診、皮膚科学的検査および関連する臨床検査により皮膚疾患を診断する能力を身につける。

到達目標：

- 1) 皮膚疾患に関する問診について説明できる。
- 2) 症状あるいは病態に応じた皮膚科学的検査の方法を説明できる。
- 3) 検査結果を正しく読み、臨床症状と合わせて病態を説明できる。

(3) 外部寄生虫性、細菌性・真菌性皮膚疾患

一般目標：

外部寄生虫性、細菌性・真菌性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を理解する。

到達目標：

- △1) 外部寄生虫性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 細菌性・真菌性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(4) アレルギー性・免疫介在性皮膚疾患

一般目標：

アレルギー性・免疫介在性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を理解する。

到達目標：

- △1) アレルギー性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 免疫介在性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(5) 角化異常性・先天性・内分泌性・腫瘍性皮膚疾患

一般目標：

非炎症性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を理解する。

到達目標：

- △1) 角化異常性疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 栄養・内分泌性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △3) 腫瘍性皮膚疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。